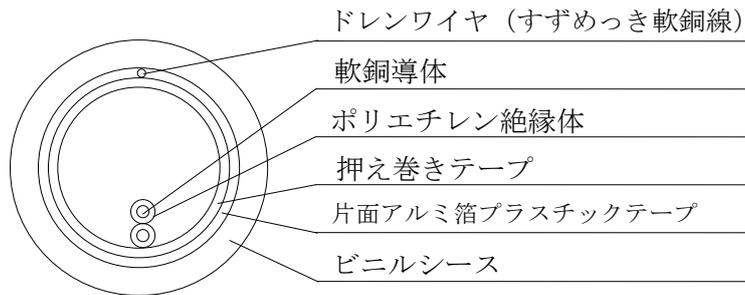


FCPEVの接地線施工方法について

1. FCPEVの構造



※ FCPEVは遮へいに片面アルミ箔プラスチックテープを使用しているため、
接地線としてドレンワイヤ (直径 0.4 mm) をケーブルに縦添えしています。

2. 接地線施工方法

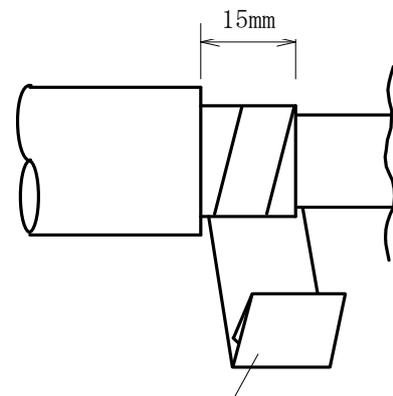
1) ドレンワイヤを使用する方法 (一般的な方法)

ケーブルの端末において、ドレンワイヤを取り出し接地して下さい。

2) ドレンワイヤを使用しない方法

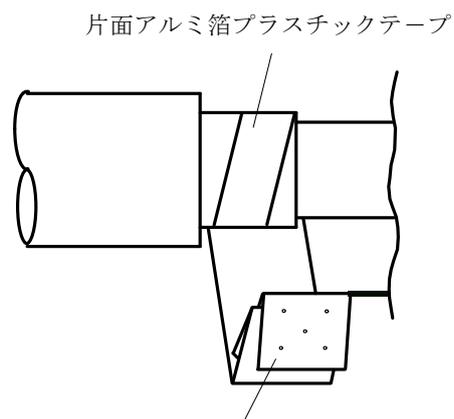
ドレンワイヤを使用せずに直接片面アルミ箔プラスチックテープを使用して接地する場合は、
以下の被覆付ボンド線接続工法となります。

- (1) 片面アルミ箔プラスチックテープをある程度巻き戻し、先端を2～3回折り曲げる。



片面アルミ箔プラスチックテープ
の先端を2～3回折り曲げる

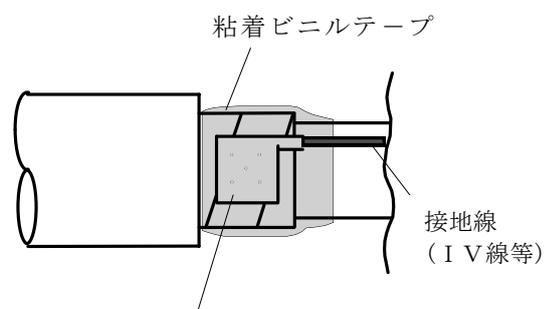
- (2) 折り曲げた片面アルミ箔プラスチックテープをターミナルホイール端子ではさみ、ペンチで圧着する。



ターミナルホイール端子ではさみ込み
ペンチで圧着する。

- (3) (a)ターミナルホイール端子を片面アルミ箔プラスチックテープに添わせる。
(b)テープで段差部を埋める。
(c)段差部がなくなったらその上をテープで押え巻きする。

注) テープは粘着ビニルテープを使用すること



ターミナルホイール端子を片面アルミ箔プラスチックテープに添わせる